



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ 2010 推進ニュース

—介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

新方針を具体化し、参院選で介護問題を国民的な争点に押し上げ、制度の抜本改善を必ず実現させよう

国会請願行動で、やすらぎ福祉会(石川)は1,934筆を届けました！

衆参両院の厚生労働委員72名を全国からの参加者で8グループに分かれて要請

特別養護老人ホームを中心に、老人福祉を良くしていこうという「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(民医連の複数の社会福祉法人も主旨に賛同しいっしょに運動をしています)が団体としてこの間、介護改善を求める署名に取り組み、5月28日(金)に国会請願行動を行いました。

社会福祉法人やすらぎ福祉会(石川)は1,934筆を届けました。この中には、民医連以外の県内の介護事業所からの463筆の署名も含まれています。「21・老福連」全体では2ヶ月という短期間でしたが、49,327筆の署名が寄せられました。これは、介護保険の矛盾が大きく、制度改善を願う声が強い結果ではないでしょうか。また、衆参両院の厚生労働委員72名を全国からの参加者で8グループに分かれて要請に行きました。

「全国で待機者が42万人いる現実をわかってほしい」「夜勤は辛くて大変」「介護職員の待遇改善をしてほしい」「安心して介護できる内容に改善してほしい」と訴えました。



署名を国会に届ける紹介議員になってほしいという要請で、民主党、社民党、自民党、共産党の9名の議員がその場で紹介議員を引き受けってくれました。社民党、共産党は積極的に「内容はよくわかる。是非改善したい」と快く引き受けってくれました。民主党は「個人では預からない、党本部に聞いてください。幹事長を通してください」と、党のしづりがあるようでした。公明党の元厚生労働大臣経験者は、話も聞かず門前払いでした。石川県の地元選出の田中美絵子議員(民主)、馳浩議員(自民)は、その場では紹介議員になるという答えはなく、署名は一応預かるという形でした。全国各地で、署名を頑張ったので、思いが届くといいなあと願っています。

(2010年5月31日 特養なんばやすらぎホーム 坂口朋美施設長より)

石川県議会に続いて、金沢市議会でも「介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書」を採択

金沢市議会も県議会に続いて、国に介護改善を求める「介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書」を、3月24日に採択しました。この意見書は、自民党、公明党、共産党の協同提案です。民主党系は反対しましたが、賛成多数で採択されました。

要望事項は、「1. 介護施設不足による施設待機者を解消するため、療養病床廃止計画を見直し、特養、老健、療養病床の介護3施設やケアハウスなどの特定施設、グループホームの大幅な整備を促進すること」「2. 在宅介護への支援を強化するため、24時間365日利用できる訪問介護サービスを大幅に拡充すること」「3. 煩雑な事務処理の仕分けを行い、保険手続きや介護認定審査会を簡素化し、利用しやすい制度に転換すること」「4. 介護従事者の賃金の大幅な引き上げなど待遇改善につながる介護報酬の引き上げを行うこと」「5. 介護保険の公費負担割合を計画的に引き上げること」の5点です。 (2010年6月3日 社会福祉法人やすらぎ福祉会酒井秀明専務より)

私たちの取り組みが雷門前の商店街に知られていることが実感！ 医師・看護師・介護士増やせ！雷門前宣伝行動に157人参加（東部東葛ブロック）



東部東葛ブロックとして5回目となる「医師・看護師・介護士増やせ！浅草雷門前宣伝行動」を5月8日に実施しました。この宣伝行動は、毎年5月に東京医労連東部ブロックと共同で開催していますが、今年はブロック各事業所から看護師69人、介護士5人を含めて157人の職員・共同組織の方が参加し、署名を1015筆あつめ、チラシを1000枚以上配布しました。東葛病院、みさと協立病院、みさと健和病院、柳原病院から参加した入職1年及び2年目の看護師や介護士が、宣伝カーの上から看護

や介護現場の実態について訴えました。共同組織からも27人参加し、若い職員と一緒に署名の訴えやチラシの配布に協力してくれました。また、東都協議会では、事務系管理者研修会を午前中で打ち切り、午後の宣伝行動に参加をするなど、参加者が広がってきています。

5年間、毎年宣伝行動を行っているために、雷門前の商店の方が、お店の従業員やお客様に署名用紙を回してくれたり、「毎年頑張っているね」と声をかけてくれるなど、私たちの取り組みが雷門前の商店街に知られていることが実感できました。宣伝行動後に実施した交流会で、看護師や介護士から「初めて参加しましたが、大勢の方が署名に協力をしてくれたので元気をもらいました」「来年は、大勢の介護士を参加させたい」などの感想が話されました。

また、共同組織の方から、「若い看護師さんと一緒に行動することで元気になります。今後とも参加をしたい」と決意が出されています。恒例となった浅草雷門前での宣伝行動を今後とも続け、医師・看護師・介護士増やせの取り組みを広げて行きたいと考えています。

（東京◇2010介護ウェーブニュースNo.45 2010年6月2日より）

この間の継続した取り組みで、弁士も慣れてきました 下通り署名行動には職員34名と多数参加し344筆を集めました！（熊本）



下通り署名行動には職員34名と多数参加し344筆を集めました。ベテランに習い、新卒看護師も頑張ったり、この間の継続した取り組みで、弁士も慣れてきました。今回の行動の各事業所の参加数と署名数は、くわみず病院155筆（11人）、菊陽病院56筆（7人）、たくまの里59筆（6人）、平和クリニック13筆（3人）、くすのきクリニック6筆（2人）、本部55筆（4人）、組合1人です。くわみず病院が八代中央クリニックに続き、目標を達成しました。最後まで目標にこだわって達成を目指しましょう！（くまもと介護ウェーブニュースNo.27 2010年5月26日号）



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp